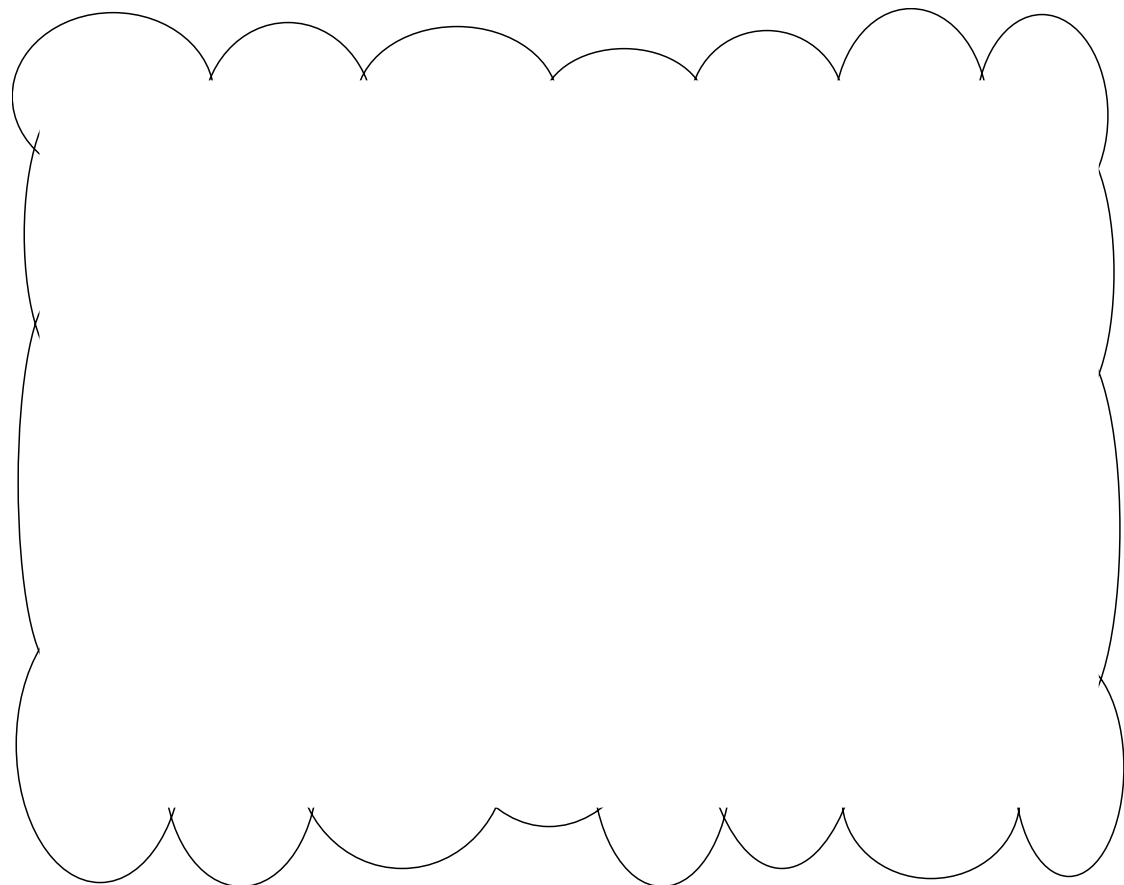


テープを重ねて四角形を作ろう

- 1 はばが同じ2枚の紙テープを重ねて四角形を作りましょう。
 どんな四角形ができるでしょうか。

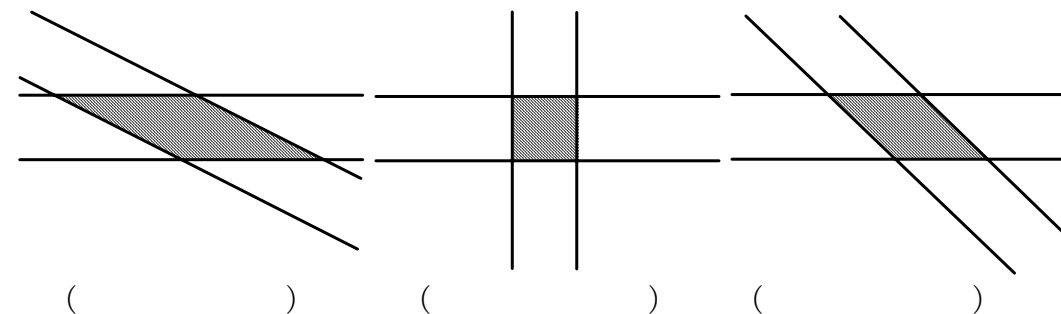
テープ

テープ



氏名

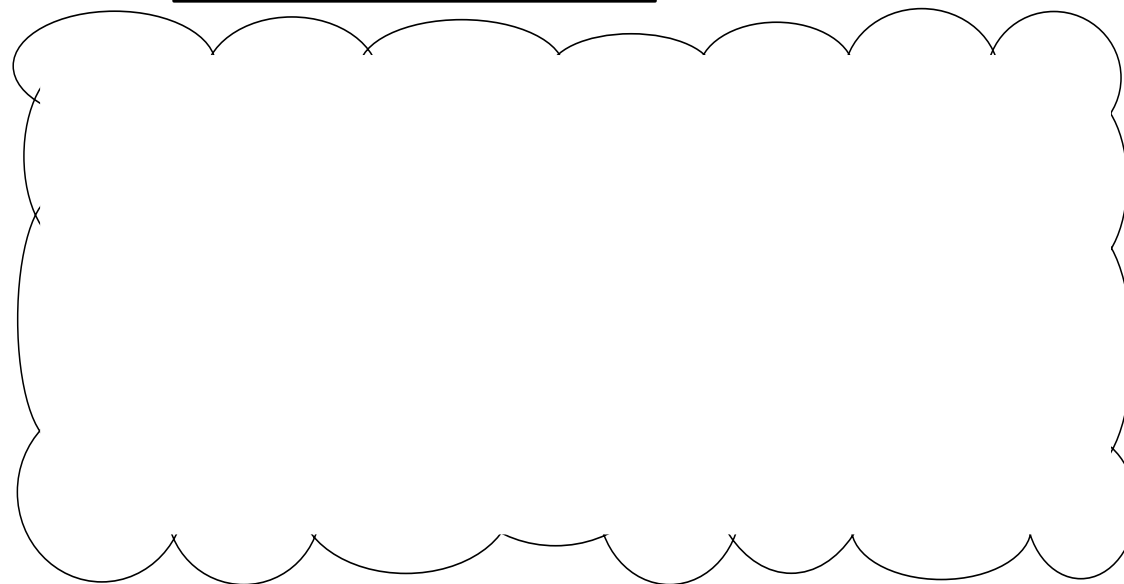
- 2 どんな四角形ができたかな。



- 3 はばがちがう紙テープだとどんな四角形ができるでしょう。

テープ

テープ



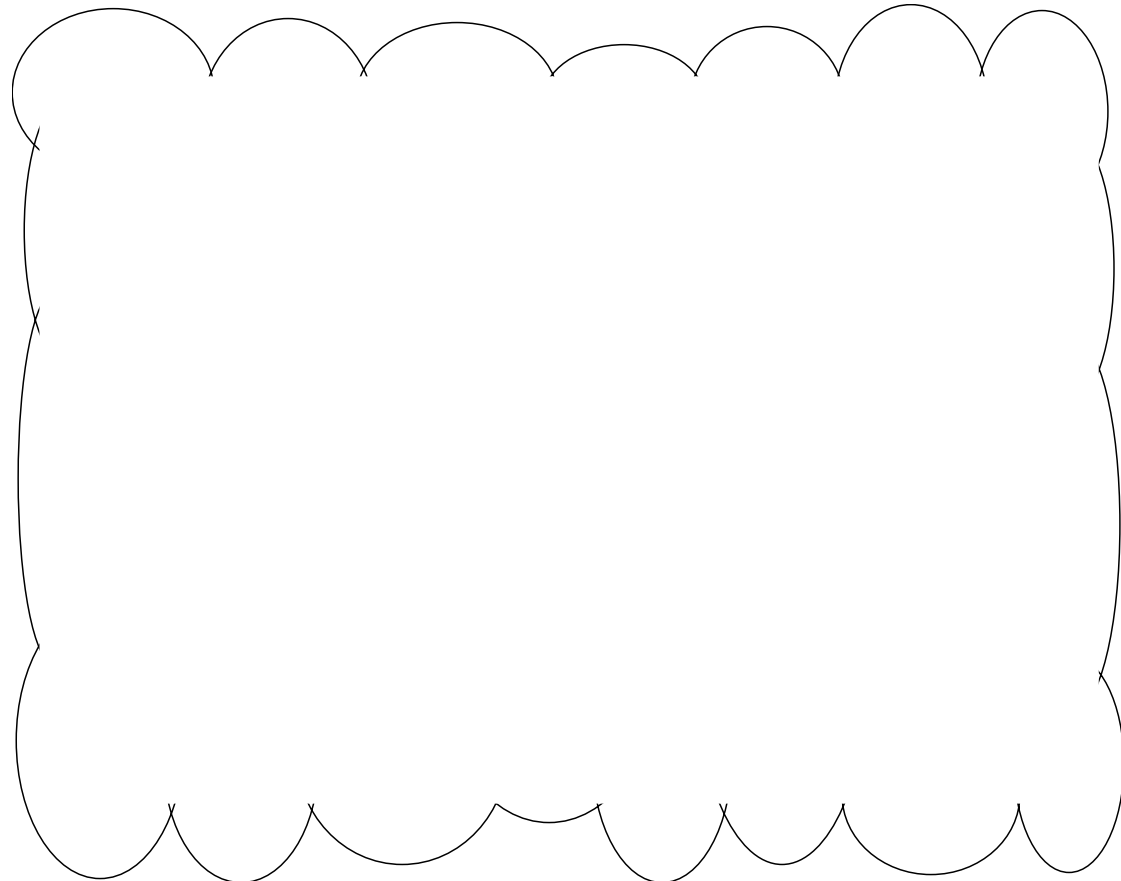
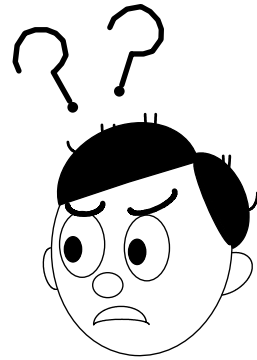
テープを重ねて四角形を作ろう

1 はばが同じ2枚の紙テープを重ねて四角形を作らしよう。
どんな四角形ができるでしょうか。

テープ

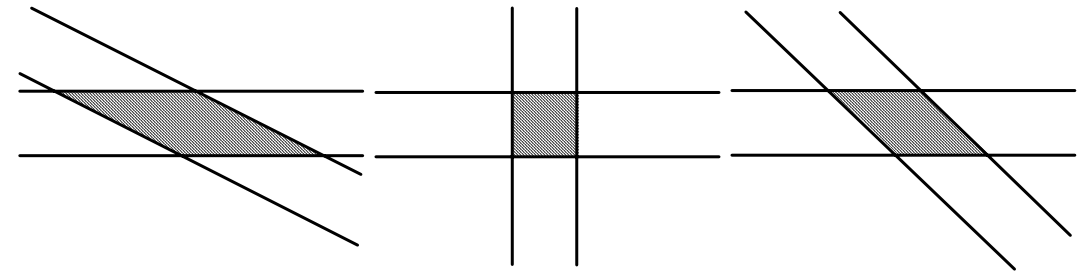


テープ



氏名

2 どんな四角形ができたかな。



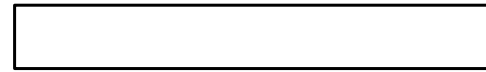
(ひし形)

(正方形)

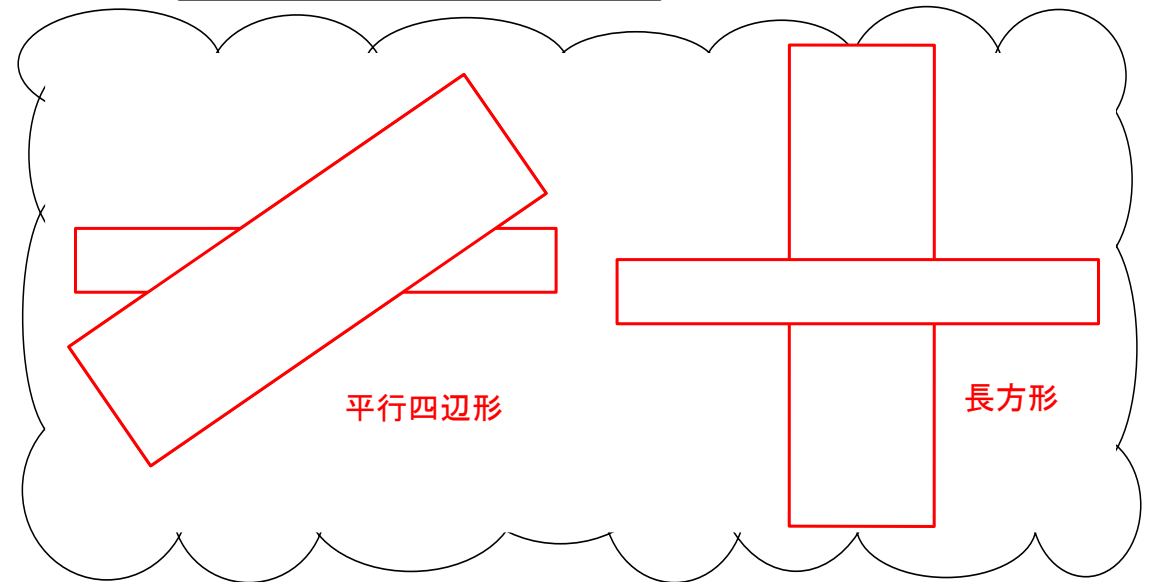
(ひし形)

3 はばがちがう紙テープだとどんな四角形ができるでしょう。

テープ



テープ



平行四辺形

長方形

テープを重ねて四角形を作ろう

1. この単元のシート構成

- 単元名 四角形
- シート名 テープを重ねて四角形を作ろう
いろいろなものを重ねて四角形を作ろう
四角形をかこう

2. ねらい

- 平行四辺形，台形，ひし形の意味とそのかき方が分かる。
- 基本的な平面図形の構成要素や性質に着目して，弁別したりかいたりすることができる。

3. 活動のポイント

- 同じ幅の2枚の紙テープを重ねたときにできる四角形が，正方形やひし形であることを理解するとともに，幅が異なる2枚の紙テープを重ねたときにできる四角形は，長方形や平行四辺形であることが分かる。

4. 留意点

- 本ワークシートとともに，同じ幅の2枚の紙テープを配布して重ねたときにできる四角形について考えさせる。「どんな四角形ができたかな？」の問いかけで返ってくる答えは，直感的な判断のものが多い。そこで，「どうしてそう言えるのかな？」と問い返して，四角形の意味や性質に迫っていくようにする。次に，「幅が異なるテープだったら？」と問題場面を広げ，実際に幅の異なるテープで，そこにできる四角形を見つけさせる活動を行う。そこでも，「どうしてそう言えるのかな？」の問い返しがある。